

Company Information

会社情報



上場市場 株式の売買単位 設立 本社 U 資 本 発行済株式数 拠 点	東京証券取引所 プライム市場 100株 1949年(昭和24年)11月 〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1(東京スクエアガーデン18F) TEL(03)5202-4011 FAX(03)5202-4054 https://www.sunwa.co.jp/ 37億2,700万円 16,044,000株 (国内) 東京(本社)、北関東(さいたま市)、東京西(八王子市)、横浜、三河(刈谷市)、名古屋、京都、大阪、福岡、東北(仙台市)、長岡、甲府、長野、沼津、浜松、三重(四日市市)、北陸(富山市)、金沢、滋賀、姫路、広島、四国(新居浜市)、北九州、熊本、大分、長崎 (サービスセンター)東京、名古屋、九州(北九州市) (海外) シカゴ、グリーンビル(サウスカロライナ)、ロサンゼルス、ケタロ、フランクフルト、リュブリャナ、上海・上海メカトロセンター、瀋陽、大連、青島、天津、蘇州、常州、武漢、杭州、広州、廈門、深圳、香港、香港物流センター、台北、台中、台南、ハノイ、ホーチミン、マニラ、バンコク、ペナン、クアラルンプール、シンガポール、ジャカルタ、 連結1,073人(2022年9月30日現在) 国内2社(サンワトリニティ、サンワロジスティック) 海外13社(アメリカ、メキシコ、ヨーロッパ(ドイツ)、上海、深圳、香港、台湾、ベトナム、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア)
--	---

事業内容

当社は1949年に創業以来、当時の産業設備復興の時代の要請を受け産業用設備機械、電動機と制御機器などの販売と付帯工事の請負を主な事業として参りました。以後産業構造の変遷につれて、電機・電子・機械の3つの分野に関わる事業領域を広げ、現在では、産業用エレクトロニクス・メカトロニクス関連分野の製品を主力に取り扱っており、さまざまな技術を最適に組み合わせた技術提案から品質管理、生産効率の向上やメンテナンスまで一貫したサービスを提供する独立系の技術商社です。

最近の取り組みとしては、環境対応製品を積極的に取り扱っており、創エネ・蓄エネ・省エネ関連の環境にやさしい製品の販売を通して環境にも貢献しております。特に電力分野では太陽光発電ビジネス・二次電池ビジネス・エネルギーマネジメントビジネスを展開しており、LED照明ビジネス・省エネ機器ビジネス・設備自動化ビジネス・環境機器への部品販売ビジネスを通して、「2050年カーボンニュートラル」への貢献を志向した環境への取り組みを推進します。

電機部門では、サーボモータ、コントローラ、インバータなどのメカトロ製品の販売を通して、お客様のニーズに合った「省力化」「省人化」を提案し、生産性向上を実現させ、環境問題の解決に貢献しております。

電子部門では、主にファクトリーオートメーション、IoTを支える各種FA装置などに使われる産業用PC、電源、コネクタ、センサを始めとする各種電子部品の販売を行っております。

機械部門では、お客様の生産現場の効率化のために、画像処理技術、AI・AR技術によるロボットソリューションを提案し、制御盤の設計製作からシステム設計までトータルのエンジニアリングサポートを行っております。



ACサーボモータ
電機部門
画像処理システム



ダイオード
電子部門



多関節ロボット
機械部門
モバイルロボット

特徴と
強み

当社の特徴

- 1) 電機・電子・機械の基幹製品を軸にして、生産工場の設備の近代化から最先端のICT分野に至るまで技術商社として顧客の製品や装置の開発段階から、試作品の製作に至るまでサービスを提供いたします。
- 2) 海外拠点を活用して顧客の製品を当社のネットワークで販売する等、相互依存、相互信頼を高めること等にも努力しております。
- 3) 当社は自前のエンジニアリング部門と、品質管理部門を有し顧客に安心と安全の提供を続けております。
- 4) 社是に則り好・不況に関係なく計画的に人材を採用し育成に努め、また株主様には創業以来安定配当を継続しております。

積極的な海外ビジネスの展開

当社グループは、1995年にシンガポールに海外拠点を開設以来既に12カ国に31拠点を開設いたしました。

いずれも顧客の要望に沿って出店していますので投資期間は短期で済み、早期の収益に貢献しております。顧客の海外進出に対応して国内と同様のサービスを提供する事をセールスポイントにし、併せて現地企業の開拓を進めて海外事業の拡大発展を目指しております。

現在はサンワグローバルネットワークの構築を進め、顧客の購買代行業務（グローバルSCMソリューション）も請け負うなど在庫から流通の合理化等により顧客のトータルコストの低減にも貢献しております。また海外の優れた製品を開発し国内外の顧客に提供するビジネスも展開しております。

【主要得意先】

安川電機グループ、デンソーグループ、三菱電機グループ、パナソニックグループ、SCREENグループ、富士電機グループ、AGCグループ、オムロングループ、キヤノングループ、島精機製作所グループ、日立グループ、FUEIグループ、ニコングループ、ダイヘングループ、ヤマハ発動機グループ、東芝グループ、セガサミーグループ、コナミグループ、ブリヂストングループ、TOTOグループ、フジテックグループ、アマダグループ、グローリーグループ、富士フイルムグループ、日清食品グループ、ダイフクグループ、SMCグループ、ミウラグループ、オークマグループ、京三製作所グループ

【主要仕入先】

（電機・電子部門）

安川電機グループ、オムロングループ、ミネベアミツミ(株)、TDKラムダ(株)、ケル(株)、スタンレー電気(株)、ダイヘングループ、フェニックス・コンタクト(株)、リコーグループ、(株)日本アレフ、フジクラグループ、シーメンス(株)、(株)オリジン、(株)コンテック、ニチコン(株)、東芝インフラシステムズ(株)、(株)明電舎、本多通信工業(株)、オータックス(株)、不二ライトメタル(株)

（機械部門）

三機工業(株)、不二ライトメタル(株)、(株)デンソーウェーブ、日機装(株)、海外機械メーカー等

— Sun-Wa Vision 2030 —

サンワビジョン2030



当社グループは、社是「人を創り 会社を興し 社会に尽くす」のもと、グローバルネットワークを活用し、顧客への「最新の情報」「ニーズを捉えたソリューション」「安全安心のサービス」を提供するとともに、パートナー企業との協業により、産業の振興、持続可能な社会の実現に貢献して参りました。

近年、グローバルな社会情勢の変化は著しく、先行き不透明な状況が続いており、当社を取り巻く環境は大きく変化しております。当社グループの目指す方向性をより明確にするため、サンワビジョン2025を見直し、新たな長期ビジョン「Sun-Wa Vision 2030」を策定いたしました。



- 顧客志向
- チャレンジ精神
- チームワークとコミュニケーション

沿革

- 1949年 11月 会社設立（旧社名 山田工業㈱）
- 1958年 4月 福岡支店開設
- 1960年 8月 大阪支店開設
- 1962年 10月 名古屋支店開設
- 1972年 11月 京都支店開設
- 1982年 5月 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1984年 11月 名古屋サービスセンタ - 開設
- 1993年 4月 社名を山田工業㈱からサンワテクノス㈱へ変更
- 1995年 5月 サンワテクノスシンガポール設立
- 1997年 12月 サンワテクノスホンコン設立
- 1998年 4月 サンワテクノスヨーロッパ設立
7月 サンワテクノスアメリカ設立
11月 サンワテクノス台湾設立
- 2000年 10月 サンワテクノスマレーシア設立
- 2001年 12月 上海サンワテクノス設立
- 2003年 4月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 2004年 2月 ISO14001をサンワテクノス㈱全事業所で取得
3月 東京サービスセンター開設
- 2005年 3月 東京証券取引所市場第一部に指定
10月 九州サービスセンター（北九州市）開設
- 2006年 10月 サンワテクノスタイランド設立
- 2007年 12月 上海メカトロセンター開設
- 2009年 1月 サンワテクノス深圳設立
2月 ISO9001をサンワテクノス㈱全事業所で取得
10月 東京西支店開設
- 2013年 10月 香港物流センター開設
- 2014年 10月 サンワテクノスインドネシア設立
- 2015年 9月 サンワテクノスフィリピン設立
サンワテクノスメキシコ設立
- 2016年 5月 サンワテクノスベトナム設立
- 2017年 4月 名古屋支社開設（支店より昇格）
横浜支店開設（営業所より昇格）
- 2018年 4月 関東支社開設
関西支社開設
- 2019年 4月 北関東支店開設（営業所より昇格）
三河支店開設（営業所より昇格）
7月 四国営業所開設
8月 サンワテクノスベトナム ホーチミン事務所開設
- 2020年 12月 長岡営業所開設
- 2021年 1月 サンワテクノスマレーシア ペナン事務所開設
2月 甲府営業所開設
5月 上海サンワテクノス 廈門事務所開設
10月 金沢営業所開設
12月 北九州営業所開設
- 2022年 4月 東京証券取引所プライム市場に移行
9月 滋賀営業所開設
上海サンワテクノス 青島事務所開設
11月 上海サンワテクノス 武漢事務所開設
上海サンワテクノス 常州事務所開設



本社

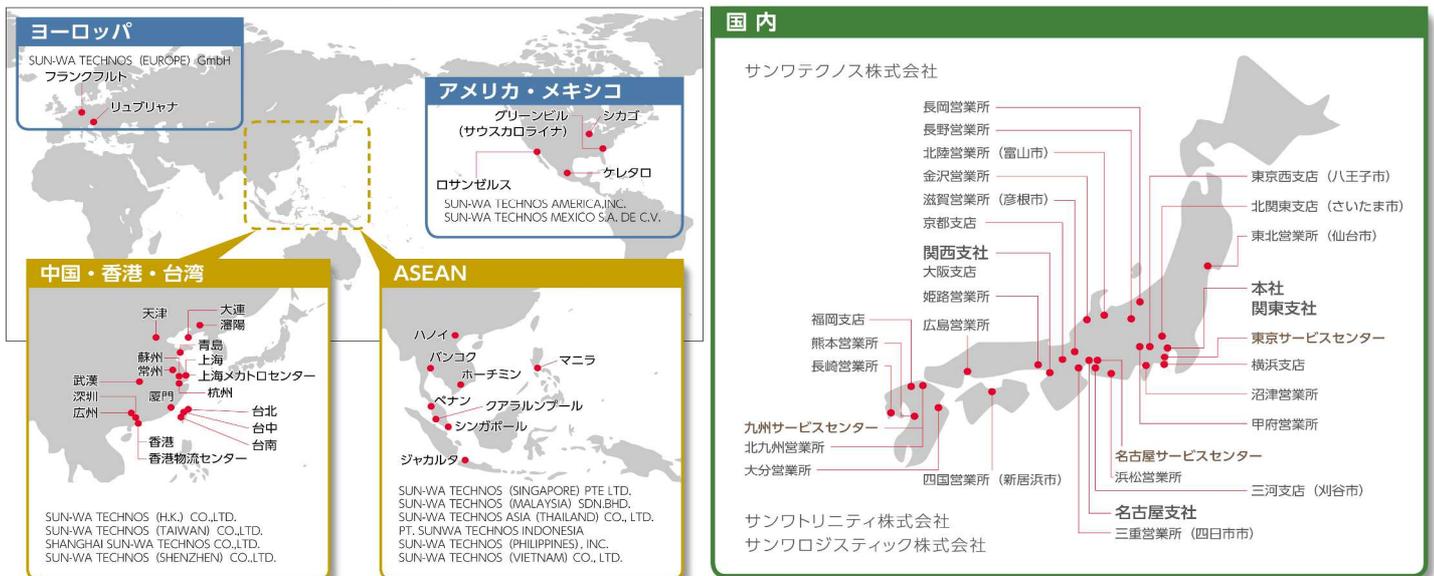


名古屋支社



上海サンワテクノス
（常州事務所）

サンワグローバルネットワーク



業績

連結

決算期（西暦）	売上高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	当期純利益 （百万円）	1株当期純利益 （円）	1株配当 （円）
2021年3月	134,769	2,152	2,567	1,786	113.23	34.00
2022年3月	154,414	4,804	5,195	3,577	228.33	37.00
2023年3月（予）	174,000	6,500	6,650	4,650	300.72	40.00

（注）2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該基準（有償支給取引に係る売上高の純額表示等）を適用した後の金額となっております。

トップが
語る

サンワテクノ株式会社 代表取締役会長 兼 社長

た なか ひろ ゆき
田 中 裕 之

Tanaka Hiroyuki



Sun-Wa New Stage 2024

第11次中期経営計画「SNS2024」について

取り組みについて

当社グループでは、2022年度から2024年度までの3ヶ年を対象とする第11次中期経営計画「SNS2024」を策定いたしました。今後も持続可能な社会の実現に貢献し、更なる企業価値の向上を目指して参ります。



経営目標<連結>

企業価値の向上

2024年度 営業利益 70億円達成



基本方針

グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして
"つながり"と"信頼" でのづくりの未来を支える

Challenge 01	イノベーションが求められる成長分野への注力 <ul style="list-style-type: none"> ● リソースを投入する顧客セグメントの特定 ● 顧客セグメント別戦略実行計画の策定 ● 戦略実行による売上総利益の向上
Challenge 02	より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供 <ul style="list-style-type: none"> ● 顧客セグメントごとに最適な製品・ソリューションの提供 ● DXによる業務効率化と提供価値向上 ● 地域密着とグローバルネットワークで海外シェア拡大
Challenge 03	サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献 <ul style="list-style-type: none"> ● サステナビリティ課題への取り組みを実効的に進める ● サプライチェーン全体で脱炭素社会に貢献する ● 持続的成長を支える多様な人材の育成と活躍推進

株主・投資家の皆様へ

当社の利益配分に関する基本方針は以下の通りです。

- ・業績の進展状況及び経営環境等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な利益還元を行う
 - ・積極的な事業展開や財務健全性とのバランスを考慮し、中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
 - ・株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施する
- 株主の皆様、投資家の皆様には、今後もより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。